事業所名:　ヒューマンライフケア　グループホーム市川

作成日:　令和4年3月31日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	入居者様の人生の最終段階について、どのようにご本人は希望されているか、ケアプラン作成の為のアセスメントで聞き取りをしたり、日々の会話の中でさりげなく導き出したりしていますが、定期的に書面には記録出来ていない。	ご家族様から情報を得たり、定期的にご本人のアセスメントを行い、希望や願いなどを記録に残していく。	本人の意思を確認できる場合は、本人と医療・ケアチームと話し合いを行い、本人の意思に沿った方針を決定し文書にまとめておく。また、時間の経過や心身の変化により本人の意思が変化すると思われ、その都度家族も含め繰り返し話し合いを行い文書にまとめておく。本人の意思が確認できない場合は、家族等の推定意思を尊重して最善の方針を取る事とする。その場合も、都度文書にまとめておく。	12 ヶ月
2	4	コロナ感染対策防止のため、内部で運営推進会議を行っている。地域包括センターの職員とは、電話で意見交換を行っているが、地域の方とは、議事録の送付のみで意見交換を行えていない。	地域の方にも意見、提案、要望等を伺い、情報共有を図り、運営に活かしていく。事業所からの報告として、透明化を図っていく。	運営推進会議の書面を基に、電話にて意見、提案、要望を伺い、議事録に記載し、情報の共有を図り、運営に活かしていく。報告時、利用者状況、ヒヤリハット、事故報告等も加えて透明化を図る。	6 ヶ月
3	35	火災による避難訓練は年に2回行っているが、他の災害での訓練は行えていない。	地震、台風、水害、停電などの様々な自然災害について定期的にシミュレーションや訓練をし、災害に備える。	地震、台風、水害、停電などの様々な自然災害についてのマニュアルを見直し、シミュレーションや訓練を行う。合同での避難訓練の場合は、出火場所を毎回変更する。	12 ヶ月
4					ヶ月